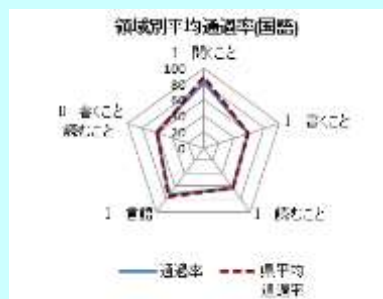


「基礎・基本」定着状況調査 本年度(H28)通過率 (本校 67.7%, 県 69.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度(H28)の結果について

- ・国語科においては、タイプⅠは69.2%、タイプⅡは61.2%の通過率であった。
- ・全体としては、基礎基本の力はおおむね定着していると結果は出ている。しかし、通過率30.0%未満の生徒が6.8パーセントおり、通過率上位の生徒と下位の生徒との差が大きい。また、無解答率も4.2%と高く、これは、通過率30.0%未満の生徒に集中している。
- ・特に長い文章で記述する設問においては、無解答率が高い。一方で、解答した生徒の正答率は高く、問題文はもちろん設問の読み取りをあきらめている生徒が多いと考えられる。

重点課題

【課題1】 四・3 (叙述の仕方の確認) 通過率33.3%

- ・二文目に述語に対応する適切な主語を補わなければならないが、補えていない。

【課題2】 五・2引用 (目的に応じた引用) 通過率51.7%

- ・条件に従って叙述しようとする生徒は増えたと思われるが、引用するのにカッコを使わない生徒、「詩に共通する点」を読み取れない生徒がいる。また、無解答率が両設問とも8.2%あり、長い文章で叙述することに抵抗感のある生徒が多いと思われる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・さまざまな文章を書かせる場面を設定し、「主語」を意識させる。

【課題2】

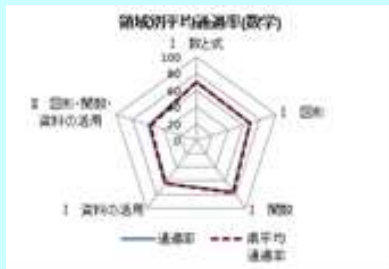
- ・文章を読み取る力を付けるのはもちろんであるが、設問、とくに条件部分を正確に読み取らせる取り組みをしていく。定期試験等を通じて、条件にあった答え方は実際にどのようにすればよいのかを理解・定着させていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	中間試験・共通問題		ポストテスト			全国プレテスト	学年末試験
目標値	通過率80.0%		通過率70.0%			通過率70.0%	通過率85.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	中間試験・共通問題		ポストテスト			全国プレテスト	学年末試験
目標値	通過率60.0%		通過率60.0%			通過率60.0%	通過率65.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度(H28)通過率 (本校 67.3%, 県 66.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度(H28)の結果について

通過率は 67.3%, 誤答率は 29.9%, 無答率は 2.8%だった。タイプⅠの通過率は 69.7%, 誤答率は 28.2%, 無答率は 2.1%だった。タイプⅡの通過率は 59.0%, 誤答率は 35.6%, 無答率は 5.3%だった。分野別では数と式・図形は 70%以上の通過率であったが、関数・資料の活用は約 60%の通過率だった。計算等の 1 行問題は通過率 83.0%であったが、特に関数について、タイプⅠは平均通過率 75.9%であるのがタイプⅡでは 48.7%しかないことから、長い問題文を読んで事象を解釈することが弱いことが顕著であった。また、分数を用いて長さを文字式で表す問題の通過率が 41.0%と極端にできていない。

重点課題

【課題 1】 文字式の表わし方 (数学 8) 通過率 35.4%

a cm の $\frac{2}{5}$ が $\frac{2}{5}a$ cm であることがわかる生徒が 35.4%しかいない。 $a - \frac{3}{5}a$ cm と

答えた生徒が 43.5%, $\frac{5}{2}a$ cm と答えた生徒が 18.4%いた。

【課題 2】 事象の解釈と表現 (数学 20) 通過率 37.4%

(時間)=(道のり)÷(速さ)の言葉の式を見て、時間は速さに反比例していることがわからない生徒が 60.0%以上いる。比例と答えた生徒が 53.1%もいた。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

- ・ 図を示しながら数量を説明させる時間をできるだけ設定し、小グループ等で自分の言葉で説明させ、文字式の表し方についての理解を深める。

【課題 2】

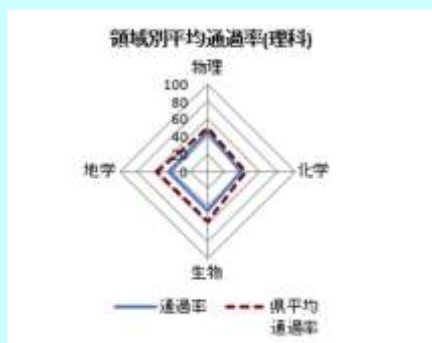
- ・ 言葉の式を示しながら数量関係を説明させる時間を設定し、対応の表やグラフだけでなく式の形からも事象を解釈する力をつける。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験			2年生 H28「基礎基本」		1年生 H28「基礎基本」	2年生 H28「全国学力」
目標値	60.0%			60.0%		60.0%	60.0%
実施後数値							

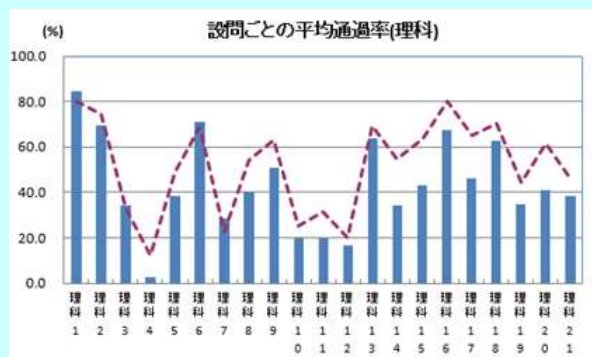
【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生期末試験	2年生 H28「基礎基本」		1年生 H28「基礎基本」	2年生 H28「全国学力」
目標値			60.0%	60.0%		60.0%	60.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度(H28)通過率 (本校 43.1 %, 県 51.8 %)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度(H28)の結果について

- どの領域も通過率が低く、基礎的・基本的な知識の定着が不十分であるため、問題文の読み取りが十分できていないと思われる。その結果、実験・観察の結果をもとに考察し、結論を導き出していく力(科学的思考力・表現力)が十分に身につけていない。
- 一方で、大問1の(1)タイプ1(2)タイプ2(振動と音領域)の通過率は84.4%, 69.4%, 大問7の(2)タイプ1(地震領域)の通過率は63%と概ね高く、ほぼ定着が図られていると考えられる。また、この場合も、基礎的・基本的な知識の定着が良いほど、発展的内容や課題解決的な問題の通過率が高くなる傾向があり、基礎的・基本的な知識の定着がおおきなポイントとなっている。

重点課題

【課題1】

- どの領域も通過率が低く、基礎的・基本的な知識の定着が不十分である。そのため、問題文の読み取りが十分である。

【課題2】

- 実験結果のまとめ方(グラフ化等)や実験・観察を通して考察・分類する力が不十分である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- 日々の授業、朝学習、パワーオブスタディなどを通して繰り返し学習することにより基礎・基本的事項(用語、用語の意味等)の定着を図る。
- 授業の中で、実験・観察の結果など基本的な用語を使って説明させるなどの場面を多く設定する。

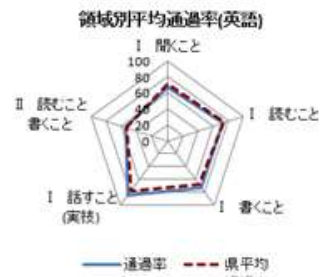
【課題2】

- 実験・観察の結果を表現する方法(グラフ[棒グラフ, 折れ線グラフ, 近似線グラフ等], 表, 図等の表現方法)を考えさせるとともに、それを使って考察し説明する場面を多く設定する。

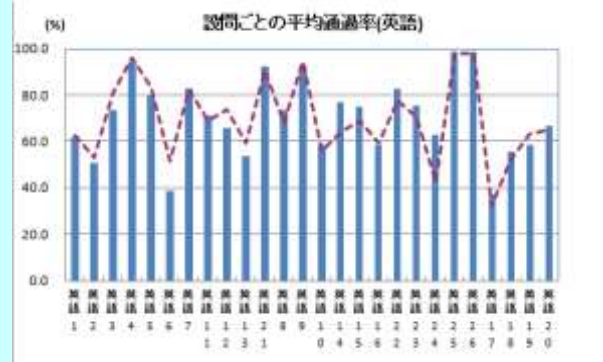
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 復習テスト			2年生 H27「基礎・基本」	CRT 検査		1・2年生 学年末テスト
目標値	50.0%			60.0%	60.0%		70.0%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 H27「基礎・基本」	CRT 検査		
目標値				50.0%	60.0%		
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度(H28)通過率 (本校 70.5%, 県 69.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度(H28)の結果について

全体の平均通過率は 70.5%, 誤答率 27.4%, 無答率 2.1%であった。タイプⅠの平均通過率は 73.4%, タイプⅡの通過率 54.6%で、平均的に見ると基礎的な項目についての理解はできていると考えられる。課題としては、全体を通して話や会話の流れの理解が十分ではなく、文の意味やつながりを捉えることが出来ない。合わせて、疑問詞を用いた疑問文に対する意識も不十分で、疑問文を作文しようとする単純な Yes/No 問題を使おうとする。そのため、会話の流れを意識して適切に解答することができない。また、タイプⅠ・Ⅱに共通して、少し長いまとまりのある英文を聞いたり読んだりするとき、複数の情報の中から必要な情報を選び、活用することができていない。

重点課題

【課題1】4(2)【リスニング問題(概要や要点の把握)】(タイプⅠ) [通過率 38.7%]

様々な情報がある中で、必要な情報を選び取ることが出来ていない。Thursday が聞き取れていない。

【課題2】11(1)【適切な質問を考え英文を書くこと】(タイプⅡ) [通過率 37.3%]

会話の相手の He wants a jacket. に気づいても、a jacket が答えになるようにという意識が低く、単純に Does he~? でたずねてしまう。疑問詞のある疑問文を活用できていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- まとまった文章の読み取りにおいて、話の流れをとらえる指導を行う。ALT の話など、まとまりのある少し長めの話を、聞き取りのポイントを示しつつ、情報活用問題の演習をさせる。

【課題2】

- 疑問詞のある疑問文を英会話練習に活用し、それを含む類似問題を行っていく。日常の場面など、場面設定を工夫し、場面や状況に応じた受け答えを意識させる活動を行う。

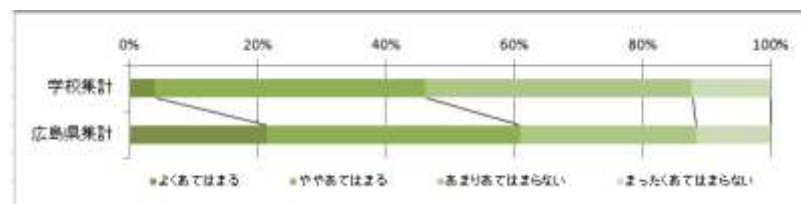
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験			2年生 H28「基礎基本」		1年生 H28「基礎基本」	
目標値	60.0%			65.0%		60.0%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験		1, 2年生期末試験			1年生 H28「基礎基本」	
目標値	60.0%		65.0%			60.0%	
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

（1）生活・学習

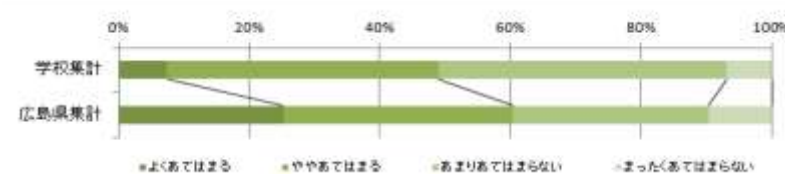
自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。



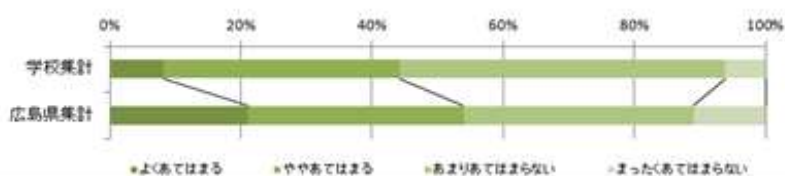
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
自分のよさは、まわりの人から認められていると思いますという質問に対して肯定的回答が46.3%（県平均60.9%）であった。	従来どおり、行事等の活動をもとに肯定的評価を行うよう努めるとともに、日常的に当たり前のことを当たり前にできていることについて、しっかりと評価していく。	2	肯定的な回答が60%以上	生徒アンケートを実施する。	3学期（2月）		

（2）教科

国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています

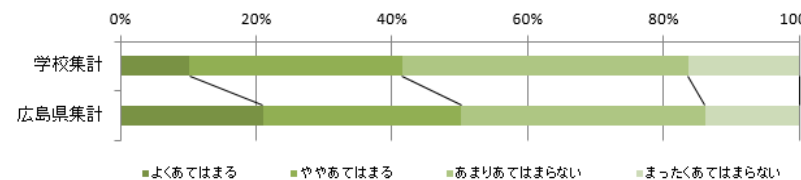


数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の授業で、学んだことの振り返りをしていると答えた生徒が49.0%であった。（県平均60.4%）	めあてをより具体的に生徒に示すとともに、めあてに対する振り返りをクラス全体で共有することで、「振り返り」を強く意識させる取り組みをしていく。授業終了3～5分で行うことを徹底する。	2	肯定的な回答を65%以上にする。	生徒アンケートを実施する。	3学期（2月）		
数学	数学の授業で、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明していると答えた生徒が44.3%であった。（県平均54.0%）	授業の中でどうしてそのように考えたかを、根拠を明確にして説明させる時間を増やす。根拠が明確でない場合は繰り返し質問をする。	2	県平均の54%以上にする。	学年末試験で証明問題を出題する	3学期（2月）		
理科	「自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています」の設問に肯定的な回答をした生徒の割合が低い。（42.2%）	実験・観察の結果を基にグループ討議をする時間を確保し、その結果から自分の解き方や考え方を発表する活動を仕組んでいく。	1・2学年	肯定的な回答を50%以上にする	生徒アンケートを実施する。	3学期（1月）		
英語	「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」の項目について肯定的な回答率が低く、県平均（52.8%）を下回った。（46.9%）	教科書本文の読み取りや読み物教材に取り組むときには、聞き取りのポイントを示した上でメモを取らせる。振り返りで、生徒が感想を伝える活動の場を設定する。	2年	肯定的な回答率55.0%以上	生徒アンケートを実施する。	3学期（2月）		

理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています

